

北海道つながる学びプロジェクト FAQ

Q1 社会教育士の称号がなくても応募できますか。

A 申込みは「社会教育士(修得見込みを含む)を中心としたプロジェクトチーム」が対象です。チームには社会教育士(修得見込みを含む)が1名以上参加していれば応募できます。

Q2 社会教育士とはどのような人ですか。

A 社会教育主事講習または大学の養成課程等において社会教育士の称号を取得している方です。

Q3 一人でも応募できますか。

A 応募はチーム単位です。一人で応募することはできませんので、メンバーを募ってチームを結成してください。

Q4 チームの人数に制限はありますか。

A 要項では人数の上限・下限は定めていません。ただし、3～4名でメンバーを構成してください。

Q5 どのようなメンバーでチームを構成すればよいですか。

A 社会教育士のほか、行政職員、社会教育関係者、学校関係者、企業、NPO、地域住民、学生など、多様な立場の方の参加を推奨しています。

Q6 地域は同じ市町村でなければなりませんか。

A 必ずしも同一市町村である必要はありません。地域課題の解決に向けて活動できる体制であれば構いません。

Q7 北海道以外からでも申し込むことができますか。

A 道外に在住されている方の申込みも可能です。

Q8 どのようなテーマで取り組みますか。

A 地域課題の解決につながる内容であれば幅広く対象となります。地域の実情に応じてテーマを設定してください。

Q9 まちデザインミーティングとは何ですか。

A 地域住民や関係団体等が集まり、地域課題を共有し、解決に向けたアイデアや協働のきっかけをつくる対話型のミーティングです。具体例は別紙「まちデザインミーティングの具体例」を御覧ください。

Q10 まちデザインミーティングは何回実施する必要がありますか。

A 回数は定めていません。チームの計画に応じて実施してください。

Q11 まちデザインミーティングをオンラインで実施することはできますか。

A チームの実情に応じて、打合せを含め、オンラインで実施することが可能です。地域の状況に応じて実施方法を検討してください。

Q12 令和8年9月以前に計画していた活動を「まちデザインミーティング」として実施することは可能ですか？

A 本事業の趣旨と一致していれば、実施可能です。

Q13 活動に必要な経費の支援はありますか。

A 活動経費の支援はありません。

Q14 企画づくりに不安がありますが、相談に応じてもらえますか。

A 北海道教育委員会社会教育課職員が、企画段階から必要に応じて相談に応じます。

Q15 応募チームが10チームを超えた場合はどうなりますか。

A 募集は10チーム程度を予定しています。応募多数の場合は応募内容をもとに選考を行います。

Q16 応募の際に必要な書類は何ですか。

A 所定の応募様式に必要な事項を記入し、期限までに提出してください。その際は、メンバー、1名の社会教育士の称号取得に関する証明書もメールに添付してください。

Q17 キックオフミーティングには全員参加が必要ですか。

A 原則として全チームの参加をお願いします。少なくともメンバーのうち1名は参加してください。

Q18 成果発表会には全チームが参加しますか。

A はい。全チームが対面若しくはオンライン配信のハイブリッドで活動成果を発表し、実践事例を共有します。また、その中で、優れた取組を表彰します。

Q19 表彰はどのように行われますか。

A 道教委以外の審査員複数名により、優れた実践を適正に審査し、表彰を行います。対面若しくはオンライン配信のハイブリッドで実施する予定です。評価方法については、別紙「まちデザインミーティング実施のポイント」を御参照ください。

Q20 表彰区分は何ですか。

A 最優秀賞のほか、いくつか特別賞を設ける予定です。

Q21 活動内容は公開されますか。

A 成果発表会や報告書等を通じて、全道へ実践事例として発信する予定です。